

平成14年度(2002年度)

日田市埋蔵文化財年報

平成14年度(2002年度)
日田市埋蔵文化財年報

発行日	平成15年12月26日
編集集	日田市教育委員会文化課 〒877-0077 大分県日田市南友田町516-1 TEL0973-24-7171
発行	日田市教育委員会 〒877-8601 大分県日田市田島2-6-1 TEL0973-23-3111
印刷	日田時報紙器印刷(株) 大分県日田市二串町345-3

I 平成 14 年度の埋蔵文化財調査事業

1) 平成 14 年度埋蔵文化財調査の概要

平成 14 年度の発掘調査等の動向（表 1）

平成 14 年度は公共事業・民間開発に伴う埋蔵文化財包蔵地の事前照会件数は 37 件、このうち試掘・立会調査を行ったものは 17 件、発掘調査を行ったものは 7 件であった。

発掘調査は民間開発に伴うものが 2 件で、その原因は教会建設に伴うものが 1 件、宅地造成に伴うものが 1 件であった。公共事業に伴う発掘調査は農業基盤整備事業に伴う大肥条里大肥地区・高野遺跡、用地売却に伴う遺跡確認を目的とした永山布政所跡の 3 件である。そのほか、史跡整備に伴う事前確認を目的とした史跡咸宜園跡、範囲内容確認を目的とした朝日天神山古墳群の 2 件の確認調査を実施した。また大分県教育委員会が市内で 3 件の発掘調査を行っている。

全体的な印象として、長引く不況の影響であろうか、公共・民間開発ともに発掘・試掘・書類審査等全ての項目で件数が前年度よりも減少していることが目を引く。しかし前年より継続している大規模な農業基盤整備事業に伴う調査を含むため、調査面積はむしろ増加している。この農業関連事業についてはピークが平成 18 年頃までとみられるため、現場での調査のみならず整理・報告書作成までを見込んだ調査体制のさらなる整備や担当職員の資質の向上、さらには調査のいっそうの効率化が急務である。

平成 14 年度の発掘調査の内容（表 2）

本年度は旧石器・縄文時代の調査例はなかった。

弥生時代の調査としてはまず大肥条里大肥地区 A－2 区・B－1 区・B－2 区が挙げられる。B－1 区・B－2 区では成人用を含む甕棺墓や石棺墓・木棺墓をはじめとする墳墓群と、弥生時代から古代まで連綿と続く竪穴住居跡群が数多く検出され、大鶴地域における弥生時代の中心集落であったと考えられる。また隣接する A－2 区では B－1 区・B－2 区の墓群・住居群を囲むように流れる前期末～後期末の流路が見つかり、堰や水さらし状の遺構が設けられていたことが確認された。埋土からは土器や石器とともに、日田市内では最古の例となる大量の木製品が出土し、なかでも漆塗の木甲は全国的に見ても出土例が少なく、新聞紙上を賑わせた。そのほか高野遺跡では後期を中心とする竪穴住居跡や土坑が検出されている。

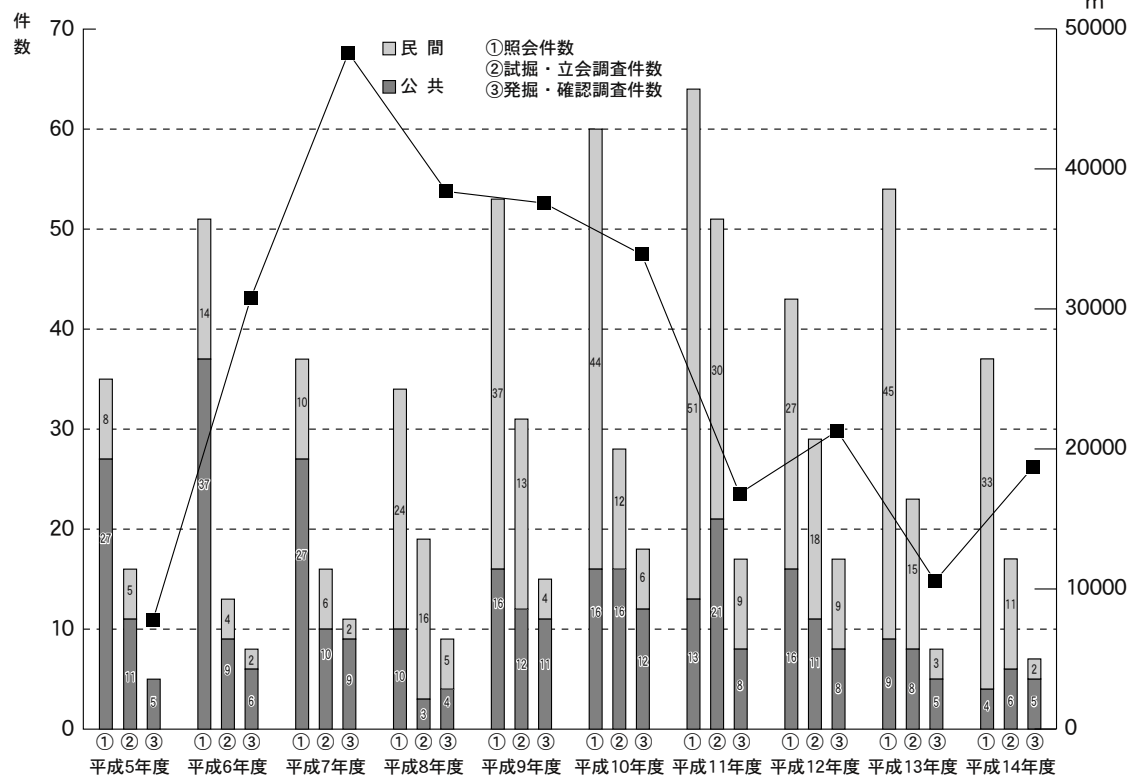
古墳時代の調査では、大肥条里大肥地区 A－1 区で流路・土坑などが検出され、古墳時代前期の流路では祭祀の痕跡が確認された。同 C 区では地形に制約されながら、5 世紀後半の竪穴住居跡や横並びで切り合った 6 世紀中頃の竪穴住居跡、土坑・溝などが検出された。日田盆地内においては、日田条里飛矢地区で 6 世紀中頃の竪穴住居跡や 7 世紀前半～中頃の区画用と考えられる溝が確認されている。古墳の調査としては朝日天神山古墳群の第 5 次調査が行われ、2 号墳→1 号墳の順で築造されたことが判明し、これまで不明であった 1 号墳の周溝の存在が確認された。また過去の調査で多角形に巡るとされていた 2 号墳の周溝が前方後円形であり、前方部が東向きではなく西向きであることなど、数多くの成果をあげることができた。なおこの朝日天神山古墳群はこれまで「天満古墳群」と呼称してきたが、今後は地名を採って「朝日天神山古墳群」と称することとなった。

古代の調査としては、前出の日田条里飛矢地区において 8 世紀代の 1 間×2 間の掘立柱建物跡 1 棟が検出されている。

中世では、大肥条里大肥地区 A－1 区で 1 間×1 間の掘立柱建物跡が 1 棟検出されている。盆地北部の三和教田遺跡 I 地点では柱穴群が、また前出の高野遺跡で 12～13 世紀とみられる掘立柱建物跡や土坑が検出されている。

近世以降のものとして、永山布政所跡と史跡咸宜園跡の調査が挙げられる。永山布政所跡の確認調査では、布政所関連施設と考えられる江戸時代の溝跡が検出され、土器や陶磁器とともに建築部材や漆器が出土した。史跡咸宜園跡は今回第 10 次の調査になるが、ここ数次の課題であった東塾跡の可能性がある、灰土で埋められた竪穴状遺構が確認された

表 1 埋蔵文化財の調査件数および調査担当者の推移



	平成5年度	平成6年度	平成7年度	平成8年度	平成9年度	平成10年度	平成11年度	平成12年度	平成13年度	平成14年度
専門職員数	2	3	4	4	5	3(4)	4	3(4)	4	4
嘱託職員数	1	1	1	1	0	2	1	0	0	0
調査面積	7,763	30,723	48,230	38,343	37,510	33,846	16,794	21,254	10,552	18,663

面積単位：㎡

表 2 平成 14 年度発掘・確認調査一覧表

日田市教育委員会

面積単位：㎡

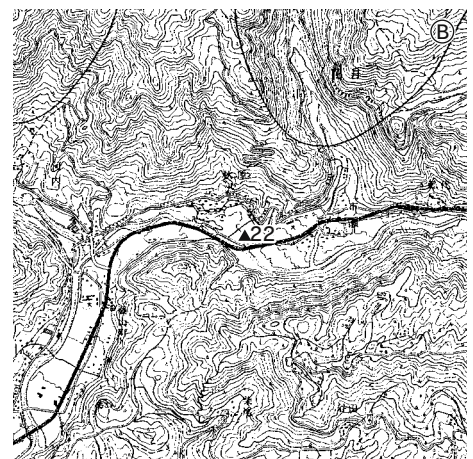
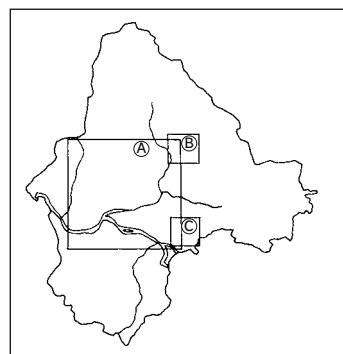
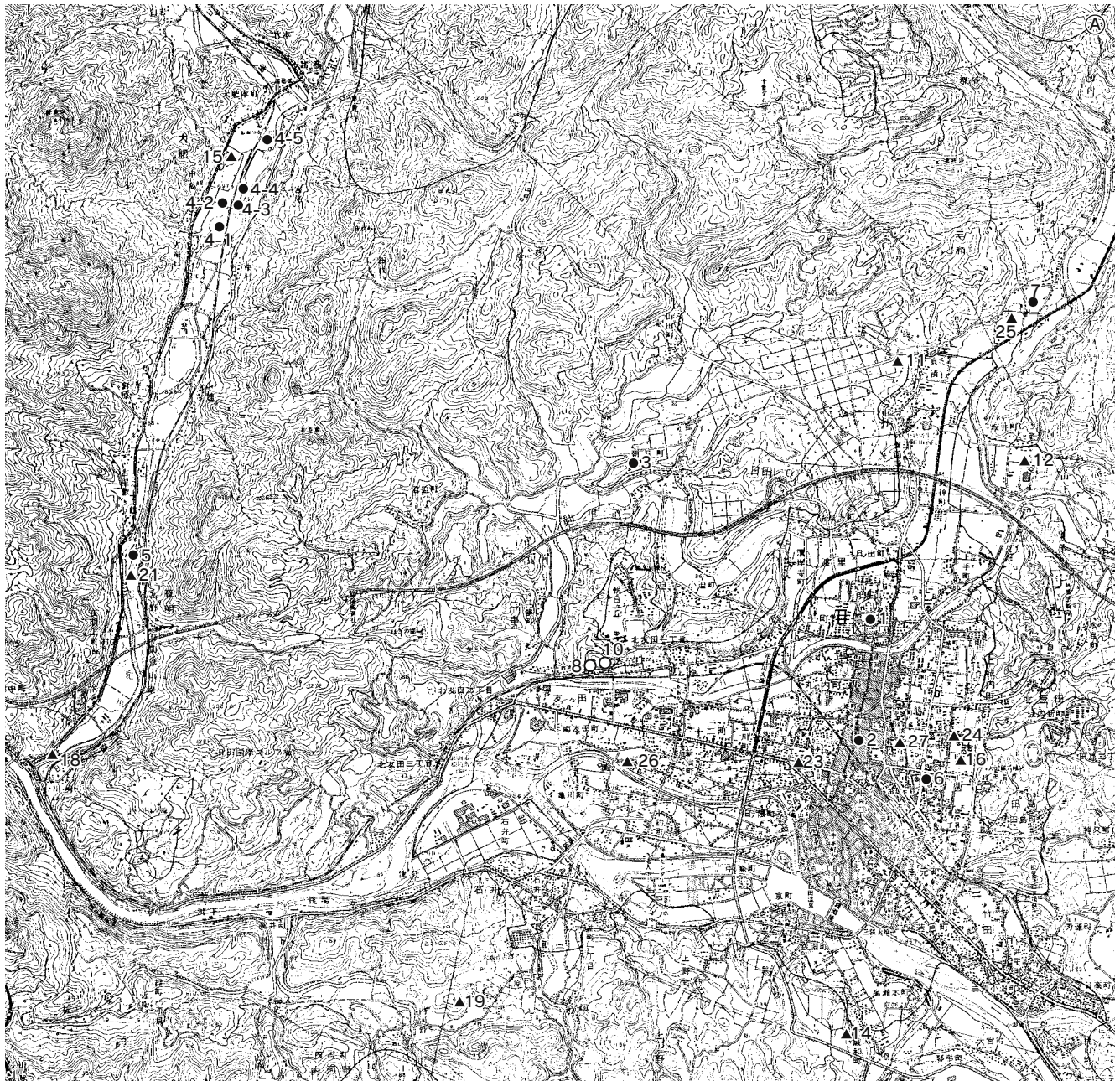
番号	遺 跡 名	所 在 地	事業主体	調査原因	開発面積	調査面積	調査年月日	費用負担	調査担当者	備 考
1	永山布政所跡	丸山 1 丁目 9-1	公共	確認調査	-	41	0508～0529	国庫補助	土居	
2	史跡咸宜園跡 10 次	南豆田字中城 100-1	公共	確認調査	-	200	0520～0829	市費	土居	
3	朝日天神山古墳群 5 次	小迫字天神山 1583-4 他	公共	確認調査	-	774	0715～0930	国庫補助	下村・若杉	
4-1	大肥条里大肥地区 A-1 区	大肥字方司口 他	公共	圃場整備	(27,200)	2,800	0527～0724	原因者	渡邊・行時	
4-2	大肥条里大肥地区 A-2 区	大肥字方司口 他	公共	圃場整備	(27,200)	1,000	0819～0213	原因者	渡邊・行時	
4-3	大肥条里大肥地区 B-1 区	大肥字方司口 他	公共	圃場整備	(27,200)	1,800	0924～1129	原因者	渡邊	
4-4	大肥条里大肥地区 B-2 区	大肥字方司口 他	公共	圃場整備	(27,200)	1,500	0621～0830	原因者	渡邊・行時	
4-5	大肥条里大肥地区 C 区	大肥字方司口 他	公共	圃場整備	(27,200)	1,100	0729～0920	原因者	渡邊・行時	
5	高野遺跡	夜明字高野 135-1 他	公共	圃場整備	30,000	9,000	0116～0320	原因者	若杉	次年度継続
6	日田条里飛矢地区	田島字飛矢 259	民間	教会建設	637	183	0417～0513	原因者	若杉	
7	三和教田遺跡 1 地点	三和字西ノ更 2654-1	民間	宅地造成	1,496	265	0703～0807	原因者	若杉	

※大肥条里大肥地区の開発面積は平成 14 年度の当該事業の総面積数につき（ ）表示としている。

大分県教育委員会

面積単位：㎡

番号	遺 跡 名	所 在 地	調査原因	開発面積	調査面積	調査年月日	費用負担	備 考
8	北友田横穴墓群	友田字 1738	急傾斜地	1,248	100	0426～0506	原因者	
9	求来里平島遺跡	求来里	河川改修	37,400	500	1205～0205	原因者	
10	北友田横穴墓群	友田字 1728-2	急傾斜地	794	10	0226～0228	原因者	



●発掘調査（市教委） ○発掘調査（県教委） ▲試掘・立会調査
※番号は表2・表3に対応。

平成14年度発掘調査遺跡位置図（1/50,000）

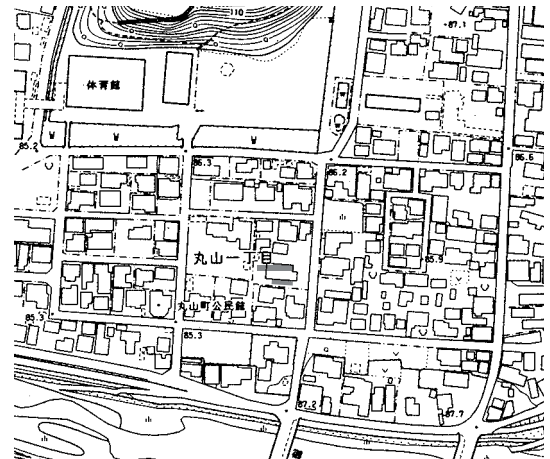
2) 発掘調査・確認調査の概要

1. 永山布政所 1 次

－遺跡確認調査－

永山布政所は江戸幕府が寛永 16 年（1639）に永山城の南側に設置した西国筋郡代所で、その推定地は現在宅地化が進み、当時の状況は現存する文政 4 年（1821）の絵図によって偲ぶことができる。

今回の調査は、2 本のトレンチを設定して遺構の確認を行なったところ、江戸時代の溝跡？ 1 条、明治時代以降の土坑や溝跡などを検出した。このうち、江戸時代の溝と考えられる遺構は、幅約 1～2.5 m、深さ約 0.8 m を測り、埋土からは土器や陶磁器、漆器、木器類、ガラス片などの遺物がまとまって出土した。土器には焙烙、陶磁器類には高取焼の碗や関西系の灰落し、木器類には竹垣やホゾ穴のあいた建築部材のほか松ぼっくりなどの自然流木がある。今回の調査地点は、現存する絵図によれば、永山布政所のほぼ中心部にあたると考えられ、絵図では永山布政所の所々に竹垣を配していたことや、陶磁器類などの時期から、検出した溝と考えられる遺構は、永山布政所に関連する施設の一部と考えることができそうである。今回の調査はトレンチ掘りという限られた範囲での調査であったために遺構の全容が十分に把握できておらず、遺構の性格や永山布政所関連の施設の状況については今後の周辺調査にゆだねるところがおおきい。（土居）



遺跡位置図 (1/5,000)

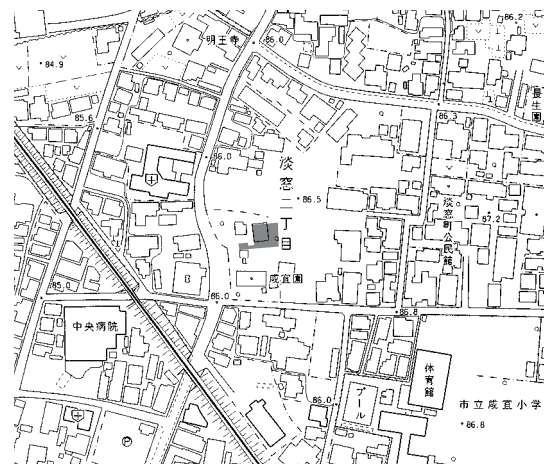


遺物出土状況

2. 史跡咸宜園跡 10 次

－史跡整備に伴う確認調査－

咸宜園は文化 14 年（1817）に広瀬淡窓が開いた私塾で、昭和 7 年に国史跡の指定を受け、平成 4 年度から史跡内に現存する秋風庵などの建造物の保存修復を継続して行なうとともに、史跡整備に伴う事前の確認調査を実施している。10 年目の今回の調査は 5 次調査区の北側を対象に行い、江戸時代の整地層や竪穴状遺構 1、小溝 1 などの遺構を検出した。江戸時代の整地層は暗茶褐色土で、硬くしまり、18 世紀代の水滴が出土している。この地盤面を切った竪穴状遺構は長方形をなし、東西 4～4.5 m、南北 8.5 m、深さ約 1.6 m の規模を測る。この遺構の埋土は灰土で、層中から時期不明の火鉢 1 点が出土した。またこの遺構の南側には、関連すると考えられる並行する石列の一部がみられた。この竪穴状遺構の西側には 18 世紀後半代の碗が出土した幅約 0.4 m の小溝が軸を同じくして敷地外へと伸びている。今回検出した竪穴状遺構の年代ははっきりとしないが、その規模が大正年間に描かれた絵図に見られる東塾の規模に相当し、東塾が建設された文政 6 年（1823）に広瀬淡窓の弟久兵衛が灰土の分布する盆地東側で小ヶ瀬井路の掘削工事を実施していることから、東塾に関係のする遺構の可能性が高いといえる。（土居）



遺跡位置図 (1/5,000)



調査区全景 (真上から)

3. 朝日天神山（天満）古墳群

－ 範囲内容確認調査 －

朝日天神山古墳群は2基の前方後円墳からなり、盆地北部の通称宮原台地の南西端部に位置する。古墳の東側一帯は弥生時代から古墳時代にかけての墓地、中世の集落や墓地が発見された朝日宮ノ原遺跡が存在する。

調査は古墳の範囲内容確認を目的として、平成9年より調査が行われており、今年度はその5年次に当たる。調査では1号墳・2号墳それぞれに7本ずつのトレンチを設定して、周溝の確認を行った。

1号墳のトレンチは周溝の存在する可能性が高い、墳丘の北側から東側を中心に設定した。その結果、前方部北西側に設定したトレンチからは周溝は検出されなかったが、その東側のトレンチにおいてその周溝の端部が確認された。周溝はこの他のトレンチにおいても確認され、少なくとも墳丘の北側から東側にかけて巡ることが判明した。南側については現在は急傾斜の斜面となっていることから現状では周溝は残っている可能性は低い。また、西側の2号墳の周溝と接するあたりから周溝の掘り込みはみられず、先に築造された2号墳を避けるように1号墳が築造されたと考えられる。

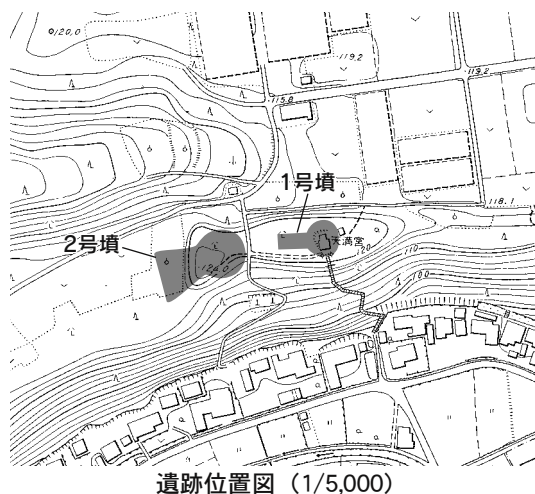
2号墳は墳丘の西側、東側、北側にグリッド状に、墳丘の北東側・南西側、くびれ部南側にトレンチを設定した。その結果、それぞれのトレンチから周溝が確認され、その結果、周溝は前方後円形になることが確認され、それにより前方部東向きと考えられていたものが、前方部西向きになることが判明した。墳丘南西側のトレンチは現在は急斜面になっている部分に設定したが、ここからも周溝の内溝が確認され、急傾斜部分にも周溝を掘り込んでいたことが窺える。

遺物はこれまでの調査と同様に須恵器の大型平底壺が多く出土している。その他の遺物では2号墳くびれ部南側のトレンチから出土した須恵器の環状把手付横瓶は類例も少ないとみられ、注目される遺物である。また、今回の調査において、1次調査の際に1号墳石室周辺から表採された三輪玉についても公表を行った。

今回の調査では1号墳の周溝が確実に1条存在することが確認された。2号墳については、これまで、現状の墳丘形態と反対の向きに前方後円形に周溝が巡り、これにより、前方部が西向きであることが確認された。以上のことから、1号墳の規模は墳長約33 m、全長約59 m、2号墳は墳長約63 m、全長約85 mになることが判明した。また、それぞれの古墳の築造時期は出土遺物から1号墳が6世紀第2四半～第3四半、2号墳が6世紀第2四半と考えられる。

1号墳が築造された6世紀第2四半期は磐井の乱の直後であり、畿内の勢力による九州支配が強化された時期といえ、そのような時期に突如として日田・玖珠地方最大の前方後円墳が築造され、また1号墳には三輪玉を副葬しているなど畿内との深い繋がりが窺える。

このことは日田地方が磐井の乱後の九州支配の一拠点になっていた可能性を窺わせる。（若杉）



遺跡位置図 (1/5,000)



古墳群全景（南から）



2号墳全景（真上から）



2号墳周溝出土把手付横瓶

4. 大肥条里大肥地区

— 県営圃場整備事業大明地区に伴う発掘調査 —

遺跡は日田市西部の三隈川の支流の大肥川沿いに細長く開けた谷地に位置している。この谷は西は田代山、北方岳、東は畔倉山、三日月岳に挟まれ、北上すると宝珠山、小石原を抜けて添田方面、西に下れば杷木を通り筑後平野、東に上ると日田へと入る交通の要所となる地形を呈している。今回の大肥条里大肥地区はこの谷の最も開けた河岸段丘上に所在する。このうち、JRを挟んで西側がA区、東側をB区と区分し、やや地点の離れた箇所をC区として調査を行った。

A区の概要

A区に関しては、水路の作り替えにより、約11m幅の調査区となり、地点ごとにA-1、A-2区と区分して調査を行った。

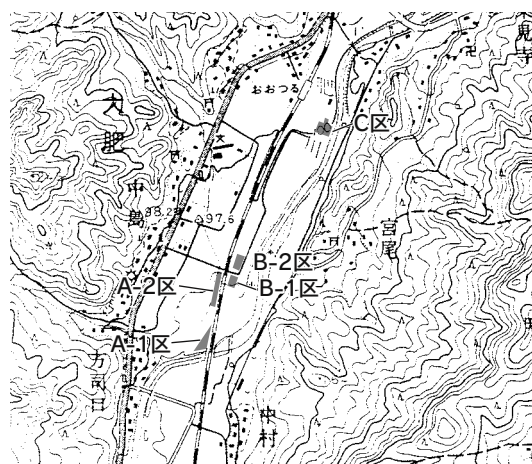
A-1区・・・古墳時代の流路2条、土坑1基、中世の建物1棟、流路多数、ピット多数

A-2区・・・弥生時代前期末から後期末の流路4条、建物8棟、土坑等、ピット多数

A-2区の前期末から後期の流路は南北方向に蛇行しながら調査区内を流れ、北側では北東から南東方向に流れる後期の流路に切られていることが確認された。この流路は、出土した大量の土器、石器などの堆積状況から、少なくとも弥生時代前期末～中期前半、中期中頃～後半、後期前半、後期後半～末の4～5時期に渡って流れ直しているものと考えられる。弥生時代前期末～中期前半がこの流路の使用開始時期にあたり、北側に堰が設けられ、その下流には水さらし状の遺構などが設置されていた。その後、堰によって水の流れが変わったことから、中期から後期前半にかけて埋没し、後期後半には流路の流れが変わり、ややずれた位置を流れるようになったものと考えられる。また、この流路が集落の端に当たるようで、北側の一部、南側のそれぞれの箇所には建物の支柱と考えられるピット群が検出されている。この流路の特筆されるべき状況は、有機質遺物の遺存状況が非常に良好であったことで、各時期を通して多彩な木器が出土し、主な製品は又鋤、鋤柄、杓子、容器、漆塗りの木甲の部品3点、高杯の破片2点など30数点にも及び、多数の建築部材とあわせると総数約1000点程の木器が出土している。これらの木製品は弥生時代のものとしては日田市内初例であり、木甲に至っては大分県下初例となる貴重な資料である。

B区の概要

当初、盛土工法にて遺構面を損なわないことから、調査対象から除外していたが、工事途中で甕棺や石棺などの露出が確認されたため、急遽墓域を中心に調査を行った。なお、現況の里道を挟んだ両側をB-1区、B-2区として2ヶ所に分けて調査を行った。



遺跡位置図 (1/25,000)



A-1区全景 (真上から)



A-2区全景 (真上から)



A-2区水さらし状遺構



A-2 区木器出土状況



A-2 区木甲出土状況



A-2 区高坏出土状況



A-2 区三叉鍬出土状況



A-2 区斜杓子出土状況



A-2 区建築部材出土状況



B-1 区全景（真上から）



B-1 区 1 号甕棺墓

た。

B－1区・・・成人用甕棺墓5基、小児用甕棺墓35基、石棺墓6基、木棺墓2基、大石1基、土壙墓1基、竪穴住居跡50軒以上、土坑50基以上、ピット多数

B－2区・・・小児用甕棺墓17基、石棺墓2基、方形周溝状遺構1基、竪穴住居跡約50軒以上、土坑50軒以上、ピット多数

墓群は、列状に構成されるというよりもいくつかの群にて構成されており、住居跡や土坑などが高い密集度を示しながらも、墓群を削平していないことから、墓域としての認識が高かったものと考えられる。完掘していないため明確ではないが、住居跡の多くは弥生時代～古代まで継続するものと考えられることから、墓群とほぼ同時期に集落が営まれていた可能性もある。また、A区の流路が大肥川と共にB区を囲むように流れていることから、この集落は中州状の地形に位置し、環濠集落のような様相を呈していたものと考えられる。大鶴地域における弥生時代の中心集落の可能性が高く、また、この地点が福岡と日田を結ぶ交通の要所であるという地形的制約から考えても、日田地域へと弥生文化が伝達する際の重要な拠点となっていたことを示している。

C区の概要

C区はA・B区とはやや離れた場所に位置し、東は大肥川が間近に流れ、西には沖積地が広がる鶴河内川との合流地点に程近い場所に位置する。調査は切り土、および水路によって削平となる箇所を中心に行った。ただし、西側は大きく削平を受けていることから、その手前までを調査区として設定した。

検出された遺構は、竪穴住居跡15軒、土坑1基、小児用甕棺墓1基、溝1条である。

この地点の地山は礫砂層で、遺構は礫の間にある安定した砂層にほとんどが掘り込まれており、その地点毎で高い密集度を見せていた。特に竪穴住居跡は5世紀後半～6世紀中頃にかけてのもので、地形的な制約が高かったことにより西側には6世紀中頃の竪穴住居跡が横に並んだ状態で検出された。上流には大肥条里吉竹地区、下流には大肥条里中村地区、大肥条里大肥地区B区が存在し、大鶴地区での古墳期の集落の展開を考える上で重要な発見となった。(渡邊)



B-1区 4号甕棺墓



B-2区全景 (真上から)



B-2区 3号小児用甕棺墓



C区全景 (真上から)

5. 高野遺跡

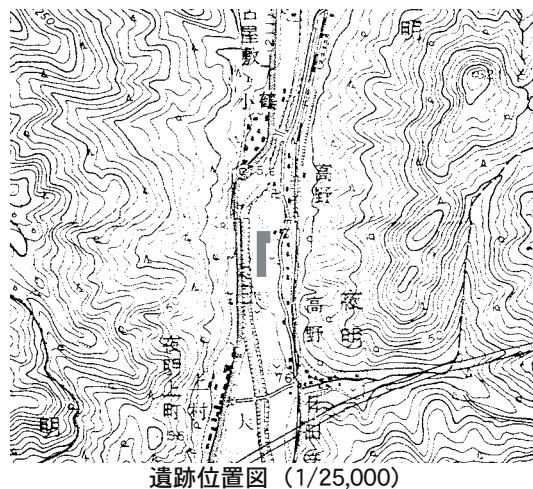
— 県営園場整備事業大明地区に伴う発掘調査 —

遺跡は日田市西部の三隈川（筑後川）支流の大肥川沿いに開けた谷に位置する。この大肥川の川筋は日田盆地には含まれず、この流域に展開する谷地形として一つの完結した景観を呈している。また、この谷は大字大肥と大字夜明の境界の南側付近で大肥川両岸から斜面が迫り、最も狭まった地形となっている。この付近で大肥川が形成する谷は大きく南北に分けられることになり、高野遺跡は南側の谷の北端に位置する沖積地に位置する。また、遺跡周辺の山には多くの谷が形成され、大肥川に注いでいる。

調査は工事により削平される部分 9,000 m²を対象とした。機械により表土剥ぎを行ったのち、今年度は、うち 5,300 m²について遺構検出を行った。その結果、土坑・竪穴住居が数基、柱穴が多数検出された。これらの遺構の大部分は調査区の西側に集中しており、調査区東側は削平によって、谷地形のように下がっていつている。また、現段階では掘立柱建物が2棟確認されており、柱痕の残る柱穴も多数検出されていることから、来年度の調査でその数が増える可能性は十分に考えられる。

遺構の時期は弥生時代・中世のものがほとんどである。弥生時代の遺構としては竪穴住居跡、土坑が見られ、時期は後期が中心とみられる。中世の遺構は掘立柱建物、土坑がある。全掘してないことから遺物の出土量は少ないが、青磁碗片や土師質土器が出土しており、時期は12～13世紀と考えられる。

今年度の調査は遺構検出と一部掘下げのみに留まったため、遺跡の内容を詳細に検討することはできないが、現段階では弥生時代の遺構が来年度遺構検出を行う調査区南側に展開する可能性が十分に想定される。高野遺跡は弥生時代の中期～後期の墓地群が確認された大肥中村遺跡の南に位置し、日田盆地へ入る情報伝達ルートの上にあることから、集落を営む上では利便性の良い位置にあると考えられる。また、中世の集落についても大肥中村遺跡において、鍛冶遺構や集落が確認されており、その広がりを考える上で重要な位置を占められると思われる。これらの検討は来年度の調査の課題である。（若杉）



遺跡位置図 (1/25,000)



1号掘立柱建物跡検出状況



5号土坑検出状況



7号土坑遺物出土状況

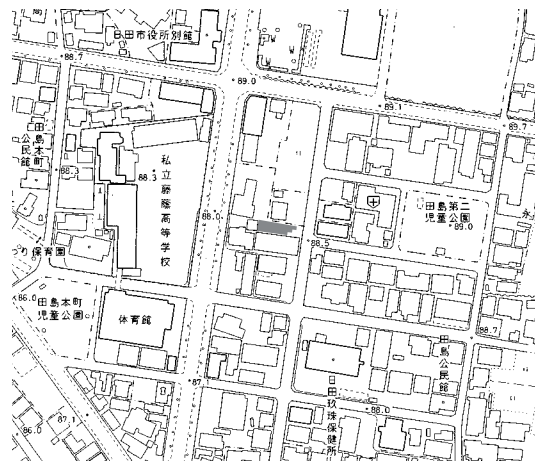
6. 日田条里飛矢地区

—民間開発に伴う発掘調査—

遺跡は盆地東部の三隈川右岸の標高約 90 m の沖積地上に位置し、遺跡の北東側には大波羅丘陵が広がる。その西側から南西部にかけては、弥生時代から古代にかけての溝や古代の掘立柱建物などが確認された大波羅遺跡や弥生時代中期の集落が確認された会所宮遺跡などがある。

調査では古墳時代から古代にかけての竪穴住居跡や溝、掘立柱建物などが確認された。古墳時代の遺構は6世紀後半の竪穴住居跡、7世紀前半～中頃の溝が確認された。このうち、溝については水が恒常的に流れていた痕跡は見られず、区画的な意味合いを持っていたものと考えられる。古代の遺構は竪穴住居跡、1間×2間の掘立柱建物とともに8世紀代のものと考えられる。

今回の調査では前述した遺構が確認されたわけであるが、試掘調査においては弥生時代前期末～中期初頭の遺物も確認されており、周辺部には当該期の遺構が広がると考えられる。また、古墳時代から古代の遺構についても周辺遺跡との関係の中で捉えていく必要があると考えられる。市街地での調査例はここ数年増加してきており、特に沖積地における遺跡の展開を考える上では重要な地域の1つである。今後の調査の増加により、さらに詳細な検討が必要になろう。(若杉)



遺跡位置図 (1/5,000)



調査区全景 (真上から)

7. 三和教田遺跡 I 地点

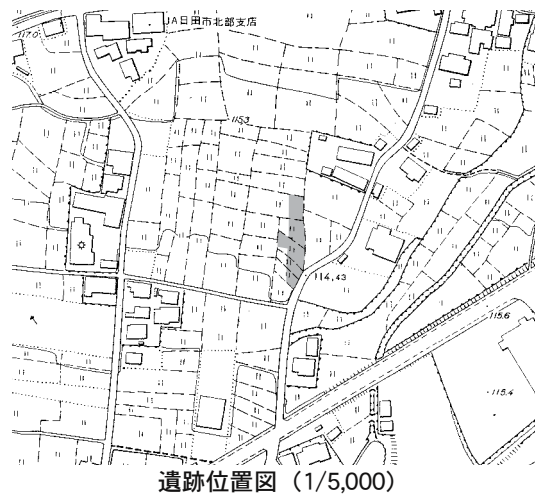
—民間開発に伴う発掘調査—

遺跡は盆地北部の花月川右岸の標高約 114 m の沖積地上に位置する。三和教田遺跡ではこれまでに数回にわたる調査が行われており、弥生時代後期中頃の環濠集落や古代の円面硯が確認されたB地点、縄文時代後期の土偶が出土したC地点、縄文時代後期から弥生時代にかけての流路が確認されたE地点、中世の水田区画が確認されたH地点などがある。

今回の調査では溝・流路が各1条と柱穴数基が確認された。溝からは11世紀頃の土師質土器碗が出土している。一方、流路からは弥生時代後期の壺が出土している。この他、検出された柱穴からは遺物が出土しなかったが、埋土の状況から中世期のものと考えられる。また調査区北側は大量の礫が堆積しており、遺構は全く検出されなかった。

今回の調査では検出遺構数、出土遺物ともに少量であった。しかし、流路が検出されたことにより三和教田遺跡一帯におけるこれまでの調査で確認された状況と大きく変わらない内容であることが判明した。また、礫の堆積が見られることは花月川の氾濫原の広がり的一部も確認できたといえよう。

三和教田遺跡一帯は近年、開発が急増している地域でもあり、これまでの調査でその内容は徐々に判明しつつあるが、今後も調査が行われることにより、その様相がより明らかになってこよう。(若杉)



遺跡位置図 (1/5,000)



調査区全景 (真上から)

3) 試掘調査・立会調査・照会の概要

表3 試掘・立会調査一覧表

面積単位：㎡

番号	遺 跡 名	事業主体	事業目的	調査場所	開発面積	調査面積	調査期間	調査区分	遺跡の時代	検出遺構	出土遺物	処置	詳細地図番号
11	用松原遺跡	民間	老人福祉施設建設	三和字貞清ノ上 1272-2 他	4,658	28	0514	試掘	江戸	溝・柱穴	陶磁器	工事実施	三和-B2-33
12	峰崎遺跡	民間	土地売却	西有田字上スダリ 459 他	37,000	68	0516	試掘	-	なし	なし	工事実施	三和-C4-32
13	東寺原遺跡	公共	市道改良	日高字中蔵 1612-1 他	1,100	15	0522	試掘	-	なし	土器片	工事実施	古金-B1-15・16
14	陣ヶ原遺跡	民間	資材置場造成	高瀬字辻原 1809-1 他	1,475	61	0620	試掘	弥生以降	柱穴	土器片	盛土による工事実施	高瀬-A1-13
15	大肥条里竜ヶ鼻地区	公共	柔剣道場建設	大肥字竜ヶ鼻 1701	380	15	0627	試掘	-	なし	なし	工事実施	森 155-11
16	大波羅遺跡	民間	店舗兼共同住宅建設	田島2丁目 118 他	400	25	0802～0803	試掘	弥生?中世	柱穴	土師質土器	盛土による工事実施	田島-B2-41
17	名里遺跡他	公共	農業基盤整備	求来里字名里 他	246,000	273	1017～1226	試掘	弥生～中世	竪穴住居跡・土坑・柱穴	須恵器・土師器・陶磁器	次年度発掘調査実施	古金-B3・B4
18	大肥条里祝原地区	公共	農業集落排水整備	夜明字エゴ 1851-1 他	3,673	105	1030	試掘	-	なし	土器片	工事実施	森 189-6
19	長者原遺跡	公共	市道改良	内河野字深田 638-1 他	170	10	1031	試掘	-	なし	石器	工事実施	石井-C3-10
20	東寺原遺跡	民間	住宅建設	日高字東寺 1544-1	333	15	1106	試掘	-	なし	なし	工事実施	古金-B1-14
21	大肥条里高野地区・古屋敷地区・祝原地区・白岩地区	公共	農業基盤整備	夜明字高野 他	130,000	650	1118～1128	試掘	縄文・弥生・中世・近世	溝・土坑・柱穴・包含層	縄文土器・弥生土器・土師器・染付	一部発掘調査実施および次年度発掘調査実施	森 155・173・189
22	堂ノ前遺跡	民間	倉庫・事務所建設	花月字野田 175-2	3,976	15	1205	試掘	-	なし	なし	工事実施	森 157-1
23	日田条里	民間	店舗建設	三本松2丁目 792-5 他	1,157	22	1209	試掘	-	なし	なし	工事実施	玉川-B4-51
24	大波羅遺跡	民間	共同住宅建設	田島2丁目 113-2 他	702	12	0212～0213	試掘	古墳～古代	溝	須恵器・陶磁器	盛土による工事実施	田島-B2-42
25	三和教田遺跡J地点	民間	貯木場造成	三和字入道町 2523-1	1,443	12	0219	試掘	弥生・中世?	流路・柱穴	弥生土器	盛土による工事実施	三和-A3-35
26	日田条里隣接地	民間	宅地造成	十二町字中島 194 他	1,462	61	0313	試掘	-	なし	染付・陶器	工事実施	玉川-B1-53
27	日田条里四反畑地区	民間	宅地・駐車場造成	淡窓1丁目 14-1 他	2,272	113	0320	試掘	古代・中世	柱穴	土師器	一部発掘調査実施	田島-B2-40・41

表4 書類審査のみの照会一覧表

面積単位：㎡

受付月日	事業主体	事業目的	開発場所	開発面積	詳細地図番号	備考
0422	民間	共同住宅建設	庄手字宮ノ向 794-1	247	玉川-C1-44	
0502	民間	病院建設	上野字タイム 1-1	11,031	上野-A3-13	
0515	民間	新置場造成	鶴河内字池ノ鶴 91-2 他	2,150	森 121-1	
0515	民間	資材置場造成	渡里字衣織手 1471-1 他	1,772	玉川-A3-45	
0527	公共	市道改良	小山字月ノ原 438-1 他	250	小山-A4-5	
0628	民間	住宅建設	十二町字水町 669-8	78	玉川-B4-46	
0708	民間	駐車場造成	北豆田字上手道 233-1 他	1,671	上手-C2-40	
0709	民間	貸事務所建設	田島2丁目 201-9	266	田島-B3-40	
0712	民間	住宅建設	友田字森ノ木 754-1	652	北友田-A4-17	
0716	民間	駐車場造成	高瀬字小原 2068-1 他	2,809	上野-C4-14	
0724	公共	都市計画道路改築	中城町 235-2 他	1,199	田島-A2-45	
0801	民間	貸店舗建設	十二町字岸高 585-1 他	3,766	玉川-B3-47	
0802	民間	作業場造成	山田字奥谷 860 他	2,600	千倉-C4-1	
0805	民間	共同住宅建設	田島2丁目 88-6 他	1,499	田島-B2-38	
0807	民間	共同住宅建設	庄手字中釣 475-2 他	724	玉川-C2-48	
0822	民間	店舗建設	友田字森ノ木 820-1 他	2,912	北友田-A4-18	
0823	民間	宅地造成	友田字石堂 86-3 他	2,793	玉川-A2-49	
0823	民間	病院建設	南元町 259 他	2,281	竹田-A2-24	
0829	民間	墓地造成	日高字法恩寺 636	1,277	竹田-A3-25	
0829	民間	宅地造成	日高字迫 509-1 他	1,100	竹田-A4-26	
0829	民間	老人福祉施設建設	求来里字堂園 607-4	625	古金-A2-13	
0918	民間	宅地造成	花月字彦田 193	1,118	花月-B1-5	
0925	民間	畜産施設用地造成	高瀬字ミノ 3860-3 他	26,630	串川-C2-3	
0925	民間	貸店舗建設	渡里字小見取 1122-1	2,709	小迫-B4-40	
1024	民間	アパート建設	田島1丁目 610-2	281	田島-C2-39	
1024	民間	アパート建設	田島1丁目 610-1	296	竹田-A2-27	
1030	公共	市道改良	友田字三郎丸 1916-3 他	857	北友田-A4-19	
1031	公共	市道改良	小山字月ノ原 421 他	230	小山-A4-4	
1209	民間	店舗建設	三本松2丁目 67-4	65	玉川-B4-50	
1209	民間	土捨場盛土工事	東有田字ツツミノ迫 22312-1 他	5,500	町野-A1-2	
0123	民間	老人福祉施設建設	庄手字中釣 479-1	1,400	玉川-C2-52	
0129	民間	宅地造成	友田字大縄手 13-3 他	2,803	玉川-A2-49	
0304	民間	駐車場造成	三和字赤迫 89-1	1,401	三和-C2-34	
0312	民間	宅地造成	西有田字面ヶ迫 976-1 他	1,128	三和-C4-36	
0328	民間	店舗建設	高瀬字今市 85-1	1,400	上野-B4-14	
0328	民間	物流センター造成	花月字彦田 192-1 他	676	花月-B1-6	
0331	民間	造成工事	有田字小金田 456-1	2,182	有田-B2-23	

II 埋蔵文化財普及・啓発事業

1) 埋蔵文化財センター運営事業

1. 日田市埋蔵文化財センターの移転

日田市では、市内より出土した埋蔵文化財を整理・保管・展示する施設として、平成8年6月15日、市役所別館2階に日田市埋蔵文化財センター（埋蔵文化財整理作業室）を開設したが、センター・文化課・遺物収蔵庫と施設が分散していたため、それらを一元化し事務の軽減・出土遺物の集中管理を目的として平成12年度より移転を進め、平成14年3月31日をもって全ての移転が完了した。

これに伴い従来の文化課文化財係は平成14年4月1日付で文化財管理係と埋蔵文化財係の二係に改組された。

新センターには、文化課事務室も設置され、また従来の埋蔵文化財センターの機能の充実が図られた。展示室では吹上遺跡・小迫辻原遺跡・ガランドや古墳などをはじめとして通史的な常設展示を行っており、次年度以降は速報展や企画展を実施していく予定である。展示室の一角にはこれまで当教育委員会が刊行した遺跡の調査報告書と関連する図書類を閲覧できる図書コーナーも併設している。

2階には図書室と講座室を備え、講座室は団体でのセンター見学や各種会議等に使用している。

[日田市埋蔵文化財センター（日田市教育委員会文化課）]

展示室の開館時間：9：00～16：30 入館料：無料

休館日：土・日・祝日・年末年始

（特別展等の開催時には変更になる場合あり。）

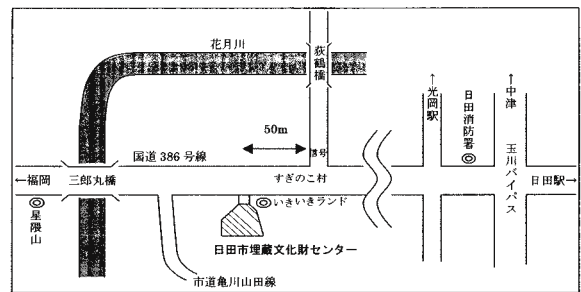
構造：鉄骨造平屋建（一部2階建）カラー鉄板葺

面積：1階 656.1㎡（うち展示室 94.26㎡）

2階 145.8㎡

倉庫2棟計 377.21㎡

水洗室（別棟）12.96㎡



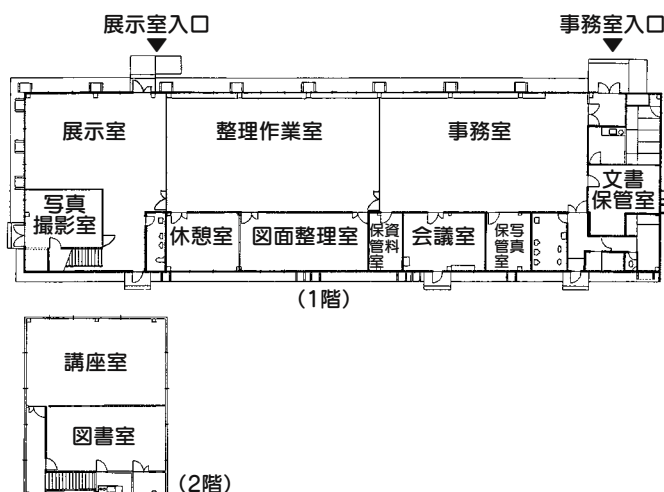
日田市埋蔵文化財センター位置図



展示室



講座室



埋蔵文化財センター平面図

日田市埋蔵文化財センター設置規則

平成 14 年 3 月 27 日
教委規第 2 号

(設置)

第 1 条 埋蔵文化財の発掘及び調査等で出土した資料の保存及び活用を図り、もって市民文化の向上に資するため、埋蔵文化財センターを設置する。

(名称及び位置)

第 2 条 埋蔵文化財センターの名称及び位置は、次のとおりとする。
名称 日田市埋蔵文化財センター
位置 日田市大字友田（南友田町）516 番地 1

(事業)

第 3 条 日田市埋蔵文化財センター（以下「センター」という。）は、次に掲げる事業を行う。
(1) 埋蔵文化財の発掘調査及び研究に関すること。
(2) 資料の収集、整理及び保存に関すること。
(3) 埋蔵文化財等に係る知識の普及及び啓蒙に関すること。
(4) 資料を展示し、公開すること。
(5) その他センターの設置目的達成に必要なこと。

(公開時間)

第 4 条 日田市埋蔵文化財センター資料展示室の公開時間は、午前 9 時から午後 4 時までとする。ただし、教育委員会が必要と認めたときは、これを変更することができる。

(入館の制限)

第 5 条 教育委員会は、次の各号のいずれかに該当するものに対し、入館を拒み、又は退去を命ずることができる。
(1) センターの管理上必要な指示又は指導に従わない者
(2) センターの管理上支障があると認められる者

(休館日)

第 6 条 センターの休館日は、次のとおりとする。ただし、教育委員会が必要と認めたときは、これを変更し、又は臨時に休館日を設けることができる。
(1) 日曜日及び土曜日
(2) 国民の祝日に関する法律（昭和 23 年法律第 178 号）に規定する休日
(3) 12 月 29 日から翌年の 1 月 3 日までの日（前号に掲げる休日を除く。）

(資料の貸出)

第 7 条 資料の貸出しを受けようとする者は、日田市埋蔵文化財センター資料貸出許可申請書（様式第 1 号）を教育委員会に提出しなければならない。
2 前号の規定による資料の貸出しの許可は、日田市埋蔵文化財センター資料貸出許可書（様式第 2 号）を交付して行うものとする。

(施設管理者)

第 8 条 センターの管理を行うために施設管理者を置き、文化課長をもってこれに充てる。
2 施設管理者は、その所管する施設等を良好な状態において管理するものとし、管理上必要な事項は、日田市庁舎管理規則（平成 12 年規則第 6 号）の例による。

(委任)

第 9 条 この規則に定めるもののほか、必要な事項は別に定める。

附 則

この規則は、平成 14 年 4 月 1 日から施行する。

日田市埋蔵文化財センター資料貸出許可申請書

平成 年 月 日

日田市教育委員会教育長 様

申請者 住所
氏名

日田市埋蔵文化財センター所蔵の資料の貸出しを受けたいので、日田市埋蔵文化財センター設置規則第 7 条の規定により、次のとおり申請します。

1 資料名

2 目 的

3 期 間

※様式第 2 号は省略。

2. 埋蔵文化財センター展示室の開館

センターの移転に伴い、普及・啓発事業のいっそうの充実を図るため、展示室（常設展）を平成 14 年 5 月 20 日に開館した。おもに小学校における総合学習の一環として利用されている。

表 5 埋蔵文化財センター展示室入館者数

月	総見学者数	団体	個人
5 月	151	118	33
6 月	169	140	29
7 月	68	59	9
8 月	82	31	51
9 月	13	0	13
10 月	53	48	5
11 月	61	54	7
12 月	76	69	7
1 月	4	0	4
2 月	1	0	1
3 月	10	0	10
	688	519	169

※展示室は 5/20 開館。



展示見学風景

主な来訪者：市立光岡小学校 6 年生（90 名・センター見学）、市立若宮小学校 6 年生（41 名、センター見学）、市立日隈小学校 6 年生（51 名・センター見学）、市立光岡小学校 4 年生（15 名・センター見学）、三芳公民館子ども教室（16 名・センター見学）、東京都立大学 / 山田昌久（大肥条里大肥地区出土石器視察）、京都府埋蔵文化財センター / 松井忠春・高野陽子（小迫辻原遺跡出土遺物視察）

2) 埋蔵文化財の普及・啓発活動

1. 発掘体験



- ・日時：平成 14 年 8 月 27 日
- ・「平成かんぎ塾」に協力
- ・場所：大鶴振興センター、大肥条里大肥地区
- ・内容：考古学講座、発掘体験、古代狩猟体験他



- ・日時：平成 15 年 3 月 14 日
- ・市立北部中学校職場体験に協力
- ・場所：高野遺跡
- ・内容：発掘体験、火おこし体験

2. 出張展示



- ・日時：平成 14 年 10 月 27 日
- ・高瀬地区ふるさと祭に協賛
- ・場所：市立高瀬小学校
- ・内容：高瀬地区の遺跡紹介、遺物の展示

3. 体験教室



- ・日時：平成 14 年 11 月 9 日
- ・「西有田わんぱく教室」に協力
- ・場所：西有田公民館
- ・内容：火おこし体験、古代狩猟体験

4. 講師派遣・講師依頼

月日	区分	派遣・依頼先	内 容	講 師
0712	派遣	市立咸宜小学校 6 年生	日田の歴史のルーツを探る	若杉
1027	派遣	大阪府立弥生文化博物館	「九州における古墳時代前期の居館 - 小迫辻原遺跡を中心として -」	土居
1211	派遣	日田考古学同好会	大肥条里大肥地区の発掘成果について	行時
1214	派遣	那珂川町教育委員会	装飾古墳を中心にセンターおよび穴観音・ガランドや古墳見学	土居

5. 刊行物

	書名	巻次	体裁	総ページ	内 容
1	平成 13 年度 (2001 年度) 日田市埋蔵文化財年報	-	A 4	35	平成 13 年度に日田市教育委員会が行った埋蔵文化財調査事業、埋蔵文化財保護事業、埋蔵文化財普及および啓発事業などを所収。
2	求来里平島遺跡	38	A 4	26	広域農道建設に伴う B・C 区の埋蔵文化財調査の成果、縄文時代の竪穴住居跡、古墳時代の竪穴住居跡などを所収。
3	葛原遺跡	39	A 4	37	広域農道建設に伴う J 区の埋蔵文化財調査の成果、古墳時代の竪穴住居跡・溝・土坑などを所収。
4	日田条里飛矢地区	40	A 4	12	教会建設に伴う埋蔵文化財調査の成果、古墳時代の竪穴住居跡・溝、古代の掘立柱建物跡・土坑などを所収。
5	穴観音古墳	41	A 4	24	国指定史跡である同古墳の範囲・内容確認調査により周溝の存在が明らかとなったもの。石室内に残る壁画の彩色顔料分析も所収。
6	吹上 I	42	A 4	108	農道建設等に伴う 3～5 次調査の成果、弥生時代の竪穴住居跡・貯蔵穴・土坑・甕棺墓・箱式石棺墓などを所収。
7	大肥中村遺跡 - 発掘調査概報 -	-	A 4	17	ほ場整備に伴う埋蔵文化財調査の概要報告。弥生時代の墓地、古代の集落、中世の集落・墓地などを所収。オールカラー。

3) 広報活動

1. 朝日天神山古墳群現地説明会

朝日天神山古墳群第5次調査の成果（詳細 P5）を広く一般に公開する目的で、平成 14 年 9 月 8 日に現地説明会を市教委・別府大学共催で催した。午前・午後の 2 回に分けて行い、厳しい暑さの中約 160 名の参加があった。当日は現地で担当者および別府大学下村智助教授が解説を行い、あわせて出土遺物も展示した。



現地説明会風景

2. 新聞発表

上記 1 の現地説明会を開催するにあたり、市広報誌および新聞紙上にて発表を行った。また、大肥条里大肥地区（詳細 P6）については、諸般の事情から市民向けの現地説明会を実施できなかったため、やむを得ず新聞紙上のみの公表となった。



4) その他

1. 資料借用・貸出

(敬称略)			
区分	資料名	借用・貸出先	目的
貸出	草場遺跡出土方格規矩鏡、法恩寺山 4 号墳出土変形五獣鏡、日隈古墳出土細線式獣帯鏡写真（カラーポジ）	(株)小学館	書籍掲載
貸出	咸宜園（秋風庵）写真（カラーポジ）	(株)小学館	書籍掲載
貸出	精米用箱水車写真（ポジ）	清流出版(株)	雑誌掲載
貸出	小迫辻原遺跡写真（カラーポジ）	大阪府弥生文化博物館	展示パネル・図録掲載
貸出	明極楚俊坐像写真（ポジ）	(株)講談社	書籍掲載
借用	県教委所蔵の日田市内出土品および写真パネル	大分県教育委員会	展示
貸出	吹上遺跡出土貝輪・銅戈ほか遺物・写真（カラーポジ）	鹿児島県歴史資料センター黎明館	展示および図録掲載
貸出	穴観音古墳前室右側壁写真（カラーネガ）	那珂川町教育委員会	案内板掲載
貸出	吹上遺跡出土石庖丁写真	(株)ポプラ社ほか	書籍掲載
貸出	吹上遺跡出土甕棺写真（カラーポジ）	(株)小学館	書籍掲載
貸出	ガランドヤ古墳、吹上観音坐像、小鹿田焼、石坂石畳道、大原八幡宮写真（CD-ROM）	全国地域観光情報センター	観光資料
貸出	吹上遺跡 G 次調査・赤迫遺跡 G 地点・平島横穴墓群出土繊維質資料	大分県教育委員会	資料収集
貸出	朝日宮ノ原遺跡出土丹塗高坏	熊本県教育委員会	資料比較
貸出	咸宜園（秋風庵）デジタルデータ	(株)サイネックス大分支店	HP 掲載（自社撮影）
貸出	平成 13 年度（2001 年度）日田市埋蔵文化財年報（抜粋）	日田考古学同好会	会報掲載

2. 資料寄託・寄贈

受付月日	区分	資料名	数量	寄託・寄贈者	備考
0930	寄贈	ガランドヤ古墳周辺採集の磨製石斧	1	個人	
0313	寄贈	須恵器蓋付高坏	1	個人	

Ⅲ 埋蔵文化財センターおよび日田市立博物館受領図書一覧

山形県
(財) 山形県埋蔵文化財センター / 埋文やまかた 第 24 ～ 25 号(2002 ～ 2003)
栃木県
(財) とちぎ生涯学習文化財団埋蔵文化財センター / やまかいどう №.31 ～ 32(2002 ～ 2003) 埋蔵文化財センター年報 第 12 号(2002)
東京都
港区教育委員会事務局 / 第 1 台場遺跡発掘調査報告書(1999) 長門府中藩毛利家屋敷跡遺跡発掘調査報告書Ⅰ(2002) 小学館 / 考古資料大観 5(2002) 帝京大学文学部史学科 / 荒川台遺跡(2002)
長野県
長野県埋蔵文化財センター / 長野県埋蔵文化財センター紀要 9・17・18(2002)
石川県
金沢大学文学部考古学講座 / 金沢大学考古学紀要 Vol.26(2002)
静岡県
袋井市教育委員会 / 掛之上遺跡Ⅵ・Ⅶ・Ⅸ・Ⅹ(2002) かけのうえ遺跡一見えてきた昔の掛之上(2002) 土橋遺跡Ⅴ(1993)
愛知県
(財) 瀬戸市埋蔵文化財センター / 平成 13 年度瀬戸市埋蔵文化財センター年報(2002) 南山大学 / 寄贈資料目録 1 人類学博物館紀要第 21 号(2003)
京都府
加悦町教育委員会 / 送電線鉄塔建設土木工事に伴う発掘調査概報(2001) 弥生王墓の誕生(2002) (財) 京都府埋蔵文化財調査研究センター / 第 18 回・19 回小さな展覧会(2001 ～ 2002) 京都府埋蔵文化財情報第 84 号～ 86 号(2002) (財) 京都府埋蔵文化財調査研究センター概要
大阪府
堺市埋蔵文化財センター / 堺埋蔵文化財だより第 15 号(2002) 堺市教育委員会 / 田園Ⅰ(2001) 堺市文化財調査概要報告第 95 冊～ 97 冊(2001 ～ 2002) (財) 大阪府文化財センター / 過去からのメッセージ大阪発掘 30 年(2003)
奈良県
全国史跡整備市町村協議会事務局 / 全史協会報平成 13 年度全国史跡整備市町村協議会(2002) 奈良女子大学文学部古代文化地域学講座 / 白米山西古墳群発掘調査報告書(2000) 金屋上司古墳発掘調査報告書(2001) (財) 元興寺文化財研究所 / 元興寺文化財研究 №.80 ～ №.81(2002) 奈良文化財研究所埋蔵文化財センター / 埋蔵文化財ニュース №.109 ～ №.110(2002) 埋蔵文化財発掘技術者研修案内 2003(2003) 奈良大学文学部文化財学科 / 文化財学報第 20 集(2002) 中町教育委員会・奈良大学文学部考古学研究室 / 多哥寺遺跡(2001) 奈良県立橿原考古学研究所 / 地光寺第 3 次・第 4 次調査(2002) 野山遺跡群Ⅲ(1992) 青陵第 109 号(2002) 箸墓古墳周辺の調査(2002) 大和の考古学 100 年(2002) 奈良県遺跡調査報告(第一分冊～第三分冊) 2000 桜井文化財協会 / 桜井市内埋蔵文化財 1992 年度発掘調査報告書 2(1994) 桜井市大福遺跡調査報告(1995) 桜井市平成 7 年度国庫補助による発掘調査報告書(1996) 桜井市内埋蔵文化財 1996・1997・1999 年度発掘調査報告書 1(1997 ～ 2000) 磐余遺跡群発掘調査概報Ⅰ(2002)
和歌山県
(財) 和歌山市文化体育振興事業団 / 秋月遺跡(2000) 太田・黒田遺跡代 47 次・49 次発掘調査概報(2001 ～ 2002) 史跡和歌山城(2001) 有功遺跡(2002) 和歌山市埋蔵文化財発掘調査年報 7(2002)
島根県
島根県埋蔵文化財調査センター / 荒神谷遺跡・加茂岩倉遺跡(2002) 隠岐空港発掘だより増刊「隠岐に召すままスペシャル」(2002) 島根県教育委員会・太田市教育委員会 / 石見銀山(2002) 石見銀山 龍昌寺跡(2002) 日本道路公団中国支社・島根県教育委員会 / 上野Ⅱ遺跡(2001) 馬場遺跡発掘調査報告書(2001) 堤平遺跡(2002) 東船遺跡(2002) 白石大谷Ⅰ遺跡・惣三堀遺跡・掘田ヶ谷遺跡・地藏院遺跡・熊谷遺跡(2002) 島根県教育委員会 / 御崎谷Ⅱ遺跡(2002) 屋敷古墳群・鋤崎古墳群・足頭古墳群・長廻古墳群・海部城跡(2002) 馬場遺跡・杉ヶ撓遺跡・客山墳墓群・連行遺跡(2002) 増補改訂島根県遺跡地図Ⅱ(石見編)(2002) 田中谷遺跡・塚山古墳・下がり松遺跡・角谷遺跡(2002) 埋蔵文化財調査センター年報Ⅹ(2002) 国土交通省中国地方整備局・島根県教育委員会 / 壇原遺跡(2)(2002) 下山遺跡(2)(2002) 小丸遺跡(2002) 殿淵山遺跡・獅子谷遺跡(Ⅰ)遺構・遺物編(2002) 古志本郷遺跡Ⅳ・放れ山横穴墓群・只谷間府・上沢Ⅲ遺跡(分析編)(2002) 貝谷遺跡(2002) 神原Ⅱ遺跡 1997 年の調査成果(第 1・2 分冊)(2002) 島根県埋蔵文化財センター・島根古代文化センター / 青銅器埋納地調査報告書Ⅰ(銅鐸編)(2002) 島根県教育庁埋蔵文化財センター / 「斐伊川放水路発掘物語」パート 8(2002) オロチのいぶき(特別号)(2001) 青木遺跡調査概報(2002) かんの流れ総集編「志津見ダム地内の遺跡」(2002) 島根県・太田市・仁摩町・温泉津町教育委員会 / 石見銀山遺跡ニュース №.3(2002) 遺跡総合調査概報(2) 石見銀山(2002) 島根県教育委員会・加茂町教育委員会 / 加茂岩倉遺跡(2002) 島根大学法文学部考古学研究室 / 石ヶ坪遺跡発掘調査概報Ⅰ(2002)
岡山県
津山市沼 E 遺跡発掘調査委員会(津山市教育委員会) / 沼 E 遺跡Ⅰ(2001) 美作国分寺跡(2002) 年報津山弥生の里第 9 号(2002) 加計学園埋蔵文化財調査室 / 津島東遺跡土生地点発掘調査概報(2001) 岡山市教育委員会 / 岡山市埋蔵文化財センター年報Ⅰ(2002) 岡山城三之曲輪跡(2002) 新道遺跡(2002)
山口県
下関市考古博物館 / 下関市立考古博物館だより「あやらぎ」 №.7・ №.8(2002) 研究紀要第 6 号(2002) 下関市立考古博物館年報 7(2002) 瀬戸内海を介した交流(2002) (財) 山口県埋蔵文化財センター / 萩城跡(外堀地区)Ⅰ(2002) 向田遺跡Ⅱ(2002) 西遺跡(2002) 郡司鑄造所跡(2002) 竜王南遺跡(2002) 武久浜墳墓群(2002) 山口県埋蔵文化財センター年報「陶垣」第 15 号(2002)
愛媛県
愛媛大学埋蔵文化財調査室 / 愛媛大学埋蔵文化財調査室年報 1995 ～ 1998 年度(2001 ～ 2002) 松山市教育委員会・(財) 松山市生涯学習振興財団埋蔵文化財センター / 松ヶ谷遺跡(2002) 潮見山古墳群(2003)